

マキノ勇士会会報誌

2026.7
No.8

命を守るために

現場で実践する熱中症対策

夏本番を迎える7月は、一年の中でも熱中症のリスクが最も高まる時期です。近年は気温の上昇に加え、湿度も高い日が続くため、屋外だけでなく屋内の現場でも十分な注意が必要です。熱中症は適切な知識と対策によって予防できる一方、対応が遅れると重大な事故や労働災害につながる恐れもあります。

また、令和7年6月からは、事業者に対して職場での熱中症対策の強化が求められています。熱中症のおそれがある作業では、異常時の報告体制や対応手順を整備することにも、作業者へ周知することが重要です。一人ひとりが正しい知識を持ち、現場全体で安全意識を高めていくことが求められています。

予防の基本は、喉が渇く前からこまめに水分と塩分を補給することです。また、暑さ指数(WBGIT)を参考に無理のない作業計画を立て、適切に休憩を取ることも大切です。直射日光を避けられる休憩場所を確保し、空調服や冷却グッズなども

積極的に活用することで、身体への負担を軽減することができます。体調が万全でない日は無理をせず、睡眠や食事など日頃の体調管理にも気を配りましょう。

さらに、熱中症対策は個人だけでなく、現場全体で取り組むことが重要です。めまいや頭痛、倦怠感、大量の発汗、足がつるなどの初期症状を見逃さず、少しでも異変を感じた場合は速やかに作業を中断し、涼しい場所で身体を冷やすとともに、水分・塩分を補給してください。また、周囲の仲間が「いつもと様子が違う」と感じた際には、ためらわずに声を掛け、必要に応じて医療機関への受診も検討しましょう。早めの対応が重症化を防ぐことにつながります。

特に就業前には、その日の気温や暑さ指数、作業内容を確認し、こまめな休憩時間や水分補給のタイミングを事前に共有しておくことが大切です。体調不良を「言い出しにくい」雰囲気をつくらないことも、



熱中症は「自分は大丈夫」という油断が最も危険です。勇士会会員一人ひとりが安全意識を高め、仲間同士で声を掛け合いながら、無事故・無災害でこの夏を乗り切れるよう、安全で安心な現場環境づくりを心掛けていきましょう。

安全な現場づくりには欠かせません。お互いの体調を気遣い、異変を感じたらすぐに声を掛け合える環境づくりが、重大な事故を未然に防ぐ大きな力となります。

【注意喚起】

夏場の車内事故に注意

夏場の車内は、短時間でも高温となり、思わぬ事故につながる危険があります。炎天下では車内温度が50℃を超えることもあり、ダッシュボード付近ではさらに高温になる場合があります。気温がそれほど高くない日でも、日差しによって車内温度は急激に上昇するため、油断は禁物です。

特に注意したいのが、モバイルバッテリーやスプレー缶、ライター、乾電池などの高温に弱い製品です。車内に放置すると、膨張や破裂、発火の原因となる恐れがあります。また、飲料や食品を長時間置いたままにするなど品質が低下し、体調不良につながる場合があります。

現場で使用する接着剤や塗料、薬品類についても、高温によって品質が変化したり、容器内の圧力が上昇したりすることがあります。製品ごとの保管方法を確認し、直射日光を避けるなど適切な管理を心掛けましょう。

車を離れる際は、車内に危険物を残してないかを確認する習慣を身に付けることが大切です。日頃の小さな確認を積み重ね、一人ひとりが安全への意識を高め、事故のない安心・安全な現場環境づくりにつなげていきましょう。



価格は一時の評価、品質は一生の評価

早いもので今年も折り返しを迎えました。まもなく梅雨明けを迎え、今年も本格的な暑い夏がやってきます。近年は異常ともいえる猛暑が続いており、炎天下の建設現場で日々作業に励まれている皆様には、心より敬意を表します。

熱中症は誰にでも起こり得る身近な危険です。こまめな水分・塩分補給と十分な休憩を心掛け、体調管理を万全にして、安全第一で作業に取り組んでいただきますようお願いいたします。

さて、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。ナフサ不足や建築資材価格の高騰に加え、新築需要の減少を背景に、リフォーム事業へとシフトする工務店も増えていきます。まさに生き残りかけた競争の時代と言えるでしょう。

最近では、ホームセンターや家電量販店との競争も激しくなっています。大量仕入れによる低価格販売に加え、多能工による施工で工事費も抑えられています。しかし、価格だけでは見えない「品質」の違いを、消費者の皆様にご理解いただくことは簡単ではありません。

弊社では創業以来、設備工事、電気工事、大工工事など、それぞれの分野を専門の職人へ依頼することを徹底してきました。それは、経営理念である「永く、安心して、快適に暮らせるリフォーム工事を提供する」という想いを大切に行っているからです。

専門職人による施工は決して安価ではありません。しかし、その分だけ高い品質と安心をお客様へお届けすることができ、そして、良い仕事は必ず信頼につながり、新たな依頼やご紹介を生み出します。

これからの時代は、安さを競うのではなく、価値を高めることが何より重要です。

価格は一時的評価、品質は一生の評価。

この言葉を胸に、一つひとつの仕事に誇りと責任を持ち、お客様から「マキノに頼んで良かった」と言っていただけ仕事に積み重ねていきましょう。

暑さ厳しい季節となりますが、皆様のご健康とご安全を心よりお祈り申し上げます。そして、これからも力を合わせ、地域に必要とされる会社づくりに取り組んでまいります。



お客様の声

CUSTOMER'S VOICE



お褒めの言葉

▶6月 DMハガキにて 長野市M様
レンジフード取付工事／新規のお客様
一燈

新規のお客様より「作業がとても丁寧で、安心してお任せすることができました。仕上がりに大変満足しています」とのお声をいただきました！

マキノのGoogleクチコミ評価をご存知ですか？

令和8年7月現在、マキノのGoogleクチコミ評価は★4.0です。リフォームをご検討されるお客様の多くは、実際に工事を依頼されたお客様のクチコミを参考に会社選びをされています。

丁寧な施工や誠実な対応は、お客様からの評価につながります。その積み重ねが「お願いして良かった」というクチコミとなり、これからリフォームを検討される方に安心感を与える大切な判断材料となります。

皆様の日頃の仕事が、会社の信頼を築く大きな力です。これからもお客様にご満足いただける施工と対応を心掛けていきましょう。



お客様から寄せられる率直なお声は、お褒めの言葉もお叱りの言葉も、等しく私たちの糧であり大切な財産です。一つひとつのお言葉を真摯に受け止め、より良い現場環境づくりと、より満足度の高い施工へとつなげていきましょう。

そのためにも下記の

六の問題解決宣言「六問宣 ろくもんせん」をこれからも皆で実践していきましょう。

三、職人としての「サービス」を追求します。
職人にサービスなど無縁だったのは、昔の話。マキノ勇士会は、お客様の喜びを活力にして、「職人ならではのサービス」を考え、実践します。

四、お客様からの「クレーム」をゼロにします。
マキノ勇士会では、「定例会」を開き、職人同士が現場での問題点や課題を持ち寄り、会員同士で解決策を見出します。

五、職人同士の「連携」を強化し、工期を厳守します。
自分の役割だけに甘んじることなく、現場代人（だいにん）を中心に、職人同士が連携し、天変地異以外の理由で、工期を遅延させません。

六、「職人はプロである」ことにこだわります。
職人気質にこだわるのではなく、「職人はプロである」ことにこだわります。マキノ勇士会に「妥協」という文字はありません。

今後の予定

8月9日(日)～8月16日(日)

株式会社マキノ夏季休業

9月

第3回 勇士会会議

会場／株式会社マキノ本社3階ホール

11月

第4回 勇士会会議

会場／株式会社マキノ本社3階ホール

12月

株式会社マキノ忘年会

会場／上田東急REIホテル

勇士会会議をはじめ、今後開催予定の行事や各種ご案内につきましては詳細が決まり次第、勇士会グループLINEにて順次お知らせいたします。皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

勇士会員紹介 ⑧

職人

西村 修一 氏
しゅうインテリア

長野県上田市蒼久保518-1



内装工事を担当する、しゅうインテリアの西村修一さん。クロスや床材などの内装仕上げを中心に、一つひとつの現場を丁寧かつ確実に仕上げてくださっています。豊富な経験と確かな技術で、住まいづくりを支える存在です。また、明るく気さくな人柄も西村さんの魅力です。誰とでも気軽にコミュニケーションを取り、現場では周囲への気配りを大切にされています。丁寧な仕事ぶりで信頼を集め、これからも住まいづくりを支えていただけることを期待しています。

勇士会員のご紹介は、社名五十音順で掲載しております。

常に六問宣を胸に
満足工事をお客様へ
届けましょう。

六の問題解決宣言
「六問宣 ろくもんせん」

一、愛される「人柄」を追求します。
不器用でも、人としてのマナーは守ります。施主様はもちろん、ご近所の方にも、自発的に「挨拶」をします。服装や身だしなみ、道具や車両の管理を徹底します。

二、「現場」のあり方を追求します。
「現場は散らかるもの」という意識を捨て、美化に努めます。毎日、現場の「清掃」と「整理整頓」を行います。「上履き」を持参します。「養生」を徹底し、大切な家にキズを付けません。

三、職人としての「サービス」を追求します。
職人にサービスなど無縁だったのは、昔の話。マキノ勇士会は、お客様の喜びを活力にして、「職人ならではのサービス」を考え、実践します。

四、お客様からの「クレーム」をゼロにします。
マキノ勇士会では、「定例会」を開き、職人同士が現場での問題点や課題を持ち寄り、会員同士で解決策を見出します。

五、職人同士の「連携」を強化し、工期を厳守します。
自分の役割だけに甘んじることなく、現場代人（だいにん）を中心に、職人同士が連携し、天変地異以外の理由で、工期を遅延させません。

六、「職人はプロである」ことにこだわります。
職人気質にこだわるのではなく、「職人はプロである」ことにこだわります。マキノ勇士会に「妥協」という文字はありません。

54th
since 1972
Anniversary

マキノ

株式会社 マキノ ■本 社／〒386-0034 上田市中条1268-51
■長野営業所／〒381-0024 長野市南長池991-8

MAKINO YUHSHIKAI

マキノ勇士会事務局 〒386-0034 上田市中条1268-51
株式会社マキノ内

発行／株式会社マキノ 勇士会事務局 TEL.0268-71-0161 FAX.0268-71-0162